

1 海を渡った技術と文化

別紙

主な展示作品



まるまどつきだいつきつぼ

① 《円窓付台付壺》

名古屋市志賀公園遺跡出土

愛知県猿投窯産

古墳時代中期（5世紀）

愛知県埋蔵文化財調査

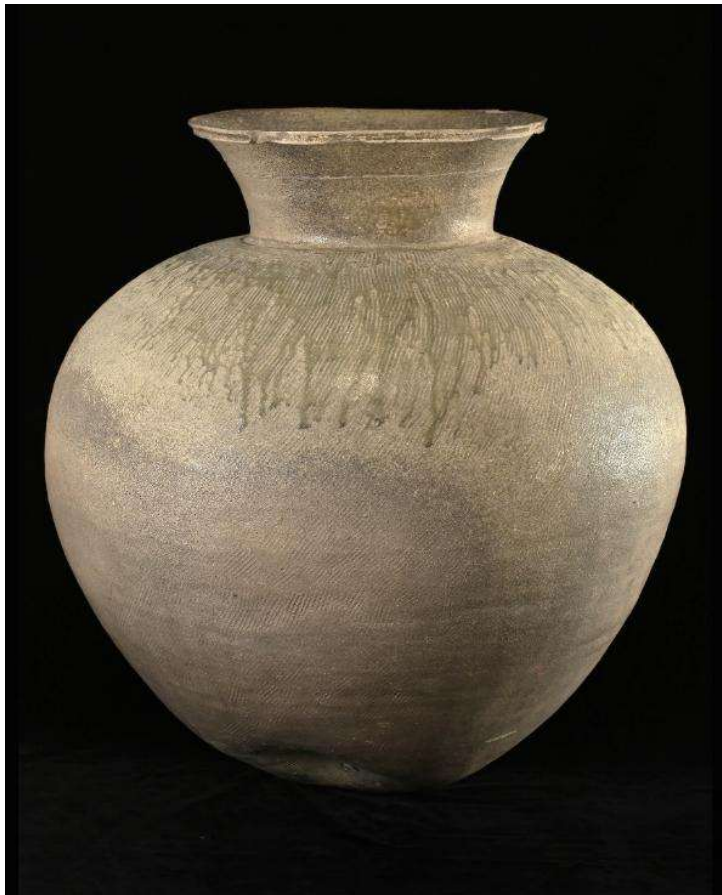
センター蔵

すかしこう

台の透孔は朝鮮半島風、

胴の窓は愛知風。

日本で未だ類例のない逸品。



おおがめ

② 《大甕》

愛知県猿投窯産

古墳時代中期（5世紀）

個人蔵

「水漏れしない」須恵器のメリットを最大限活かした大甕。

確かな技術が成せる逸品。

2 造形のうつりかわり

主な展示作品



ちょうけいへい

③ 《長頸瓶》

神奈川県小田原市久野の古墳
出土

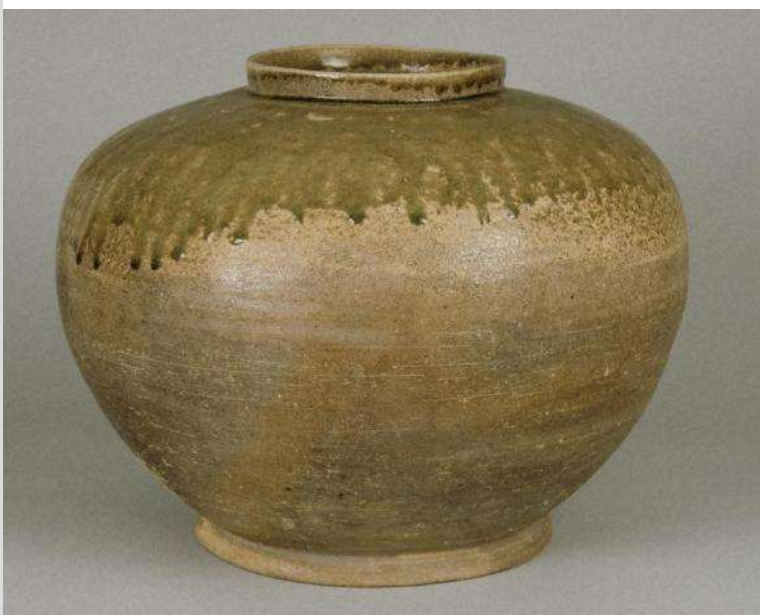
静岡県湖西窯産

飛鳥時代～奈良時代

(8世紀前葉)

MOA美術館蔵

**7世紀に定着した新たな形。
シャープなプロポーション。**



たんけいこ

④ 《短頸壺》

愛知県指定文化財

名古屋市守山区小幡緑地公園
出土

愛知県猿投窯産

平安時代初期～前期

(8世紀末～9世紀前葉)

愛知県陶磁美術館蔵

**金属器ルーツの造形。
仏教と深く関わる火葬骨壺。**

3 ハレのうつわ～古墳時代の祭り～

主な展示作品



だいつきななれんばい

⑤ 《台付七連杯》

名古屋市池下古墳出土

愛知県猿投窯産

古墳時代後期（6世紀前葉）

名古屋市博物館蔵

多くの飲食物を盛り付けた？

複雑な造形の中に、

製作者の努力の跡も。

装飾須恵器の典型。



かんじょうへい

⑥ 《環状瓶》

古墳時代後期～末期

（6世紀末～7世紀前半）

名古屋市博物館蔵

異形の器。

ドーナツ形の瓶、

しっかり水が入ります。

特殊須恵器の典型。



装飾部分の拡大
 (蓋の上に鳥が1羽。
 壺の肩に鳥が1羽と犬が2匹。)

とりちゅうふたつきだいつきつぽ

⑦ 《鳥鈕蓋付台付壺》 愛知県指定文化財

岡崎市岩津1号墳出土 愛知県猿投窯産

古墳時代後期～末期 (6世紀後葉～7世紀前葉)

岡崎市美術博物館蔵

魂の象徴「鳥」を蓋に乗せて。日本武尊の白鳥伝説との関係も。

装飾須恵器の典型。



- こもちふたつきだいつきよんれんこ
- ⑧ 《子持蓋付台付四連壺》
重要文化財
豊田市豊田大塚古墳出土
愛知県猿投窯産
古墳時代後期（6世紀）
豊田市博物館蔵
- 四つの壺を結合。
四つの小壺付きの蓋を被せる。
装飾須恵器の典型。



- かわぶくろがたへい
- ⑨ 《皮袋形瓶》
岐阜県岐阜市上加納稻荷神社出土
古墳時代後期（6世紀）
愛知県陶磁美術館蔵
- 北方遊牧民族が用いる皮袋に由来。
須恵器に見える古代の国際性。

※関連イベント等の詳細は11月20日（木）に発表します。

※広報用の高精細画像につきましては、愛知県陶磁美術館担当までお問い合わせください。